

第324回

# 日文研フォーラム

講師◎楊 春華

南開大学周恩来政府管理学院(中国) 准教授 / 日文研 外国人研究員

## 高齢化するアジア社会における家族の変容

— 日本の過疎地の高齢者福祉に関する調査研究

コメンテーター◎ 落合 恵美子  
京都大学 教授

司会◎ 呉座 勇一  
日文研 助教

2018年12月11日(火) 十八時三十分～二十時三十分(開場十八時十分頃)

ハートピア京都3階大会議室 入場無料・先着一八〇名まで

申込不要(十七時四十五分頃より整理券配布)

International Research Center for Japanese Studies  
The 324th Nichibunken Forum

主催: 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター



## 日文研フォーラム

高齢化するアジア社会における  
家族の変容

—日本の過疎地の高齢者福祉に関する  
調査研究

The Transformation of Family  
in Aged and Aging Societies in Asia:  
Research on the Social Welfare for the Elderly  
in Underpopulated Areas in Japan

中国では人生八十年、日本では人生百年と言われるようになりました。長寿社会の到来は喜ばしいことですが、高齢者を支援する制度が不十分な現実もあり、高齢者の家族は多くの課題を抱えています。日本はアジア諸国の中で最も早い時期から高齢者福祉の問題に直面した課題先進国であり、その経験を他の国々が活かせるか検討する必要があります。

本発表は、日本でのフィールド調査に基づき、現場で得られた情報を分析したうえで、日本の過疎地における高齢者福祉の様子また高齢者介護における家族の役割について考察します。

講師 **楊 春華** 南開大学周恩来政府管理学院(中国) 准教授 / 日文研 外国人研究員



1988年新疆大学中国言語文学専攻卒業。1996年名古屋大学大学院教育学研究科にて修士号取得、2001年名古屋大学大学院教育学研究科博士後期課程単位認定修了。文学博士(2003年愛知学院大学)。2004年北京大學社会学科博士研究員を経て、2006年より現職。2018年4月より国際日本文化研究センター外国人研究員を併任。

専門分野は家族社会学、ジェンダー研究、日中比較研究。主な著書・論文に、『中国における「一人っ子」の家庭教育の特質』(青山社、2018)、「農村の留守児童と全寮制教育-生活経験の欠如と未成年者への影響についての分析」(『南開学報(哲学社会科学版)』第2号、南開大学、2018)がある。

コメンテーター **落合 恵美子** 京都大学 教授



1987年東京大学大学院博士後期課程単位取得退学。同志社女子大学講師、国際日本文化研究センター助教授等を経て、2004年より京都大学大学院文学研究科教授。

専門分野はジェンダー、家族、人口、福祉国家、グローバル化等の歴史社会学および比較社会学。近年はアジア諸社会の家族の比較研究に力を入れている。主な著書・編著書に、『21世紀家族へ』(有斐閣、2004)、『21世紀アジア家族』(共編著、明石書店、2006)、『アジア女性と親密性の労働』(共編著、京都大学学術出版会、2012)、『親密圏と公共圏の再編成』(編著、京都大学学術出版会、2013)、『徳川日本の家族と地域性』(編著、ミネルヴァ書房、2015)など。

## 日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター(日文研)が、来日中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介、共有していただくことを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2

TEL: 075-335-2078

<http://www.nichibun.ac.jp/ja/>



日文研



京都府立総合社会福祉会館 **ハートピア京都**

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「烏丸丸太町」バス停下車